



## ダイヤモンドダストって何なの

細かい氷のつぶが、太陽の光でかがやく

ダイヤモンドダストは、晴れた空からゆっくり降りてきたり、空気中をただよっている細かい氷の結晶が、太陽の光によって、ダイヤモンドのように、キラキラと、かがやいている現象のことをいいます。

ダイヤモンドダストは、なかなか見ることができません。日本では、北海道の旭川や帯広などで観測されています。

気温がマイナス15以下<sup>ドスキー</sup>のときに、発生しやすい

ダイヤモンドダストは、風がなく、気温が急にマイナス15以下になったときに、発生しやすくなります。気温が非常に低いと、大気中（空気中）にある水蒸気が、直接こおり、その結晶が空気中をただよいます。それが太陽の光によって、キラキラとかがやくのです。

空気中の水蒸気が、直接こおるような、たいへん寒い地域でないと、見ることはできません。（監修・村山 貢司）

